

(共同リリース)

2017年1月23日
 日本航空株式会社
 三菱UFJニコス株式会社
 Mastercard

法人向けに国際線航空券を含む諸経費の一元管理を実現

～「海外出張時の国際線航空券精算データ」と「法人カードの経費精算データ」を包括的に管理～

日本航空株式会社(代表取締役社長:植木 義晴 以下「JAL」と三菱UFJニコス株式会社(代表取締役社長:井上 治夫、以下「三菱UFJニコス」)、Mastercard(日本地区社長:ナンダン・マー)は、法人顧客向けに国際線航空券を含む諸経費(出張旅費、交際費、交通費など)の精算データを自前で 包括的に管理できるサービス「CPS(Corporate card PassAge Solutions)(*1)」を4月から開始します。

「CPS」は、JALの法人向けシステム「JAL PassAge コーポレートプラン(以下「PassAge(*2)」)」の“航空券精算データ”と、世界4,330万の加盟店(*3)で利用可能な「Mastercard ブランド」を付した三菱UFJニコス発行の「MUFGカード コーポレート」の“決済情報”を、Mastercardで一元集約し、お客さまにデータを提供するものです。

データのプラットフォームには「Mastercard スマートデータ(*4)」を活用。これにより、一般的な会計システムへ自動で伝送できるほか、自前で会計システムを構築している場合でも専用のWebアプリケーション「Mastercard スマートデータ Gen2、(以下「Gen2(*5)」)」の利用で、簡便に独自システムに取り込むことが可能となります。これにより、タイムリーに「経費支出状況や利用傾向の把握・分析」「戦略的な予算実績管理」「財務計画の立案」「経費精算処理の効率化」などを実現できるようになります。

また、3社は今回の業務提携を記念し、「PassAge」導入企業専用デザインの「MUFGカード コーポレート PassAge Mastercard」を用意します。今後もさらに協働を深化させ、お客さまに選ばれるソリューション提供を強化してまいります。

◆特長

- 1、会計システムと費用データ連動による立替精算申請者、経費精算処理担当者の効率改善
- 2、部門別費用管理、削減の高い実効性をサポート (圧倒的多数の費用精算をカバー)
- 3、透明性確保によるコンプライアンス強化
- 4、タイムリーな部門別費用動向確認の実現
- 5、ご希望に応じて会計システム Gen2 を提供



PassAge 導入企業専用コーポレートカード

- (*1) 国際航空券精算、企業経費決済それぞれのリーディングカンパニーである JAL と三菱 UFJ ニコスが、Mastercard の洗練されたテクノロジーを利用して実現する、ソリューション名称です。
- (*2) 国際線航空券の後払い精算にご利用いただく、JAL が運営する法人向け精算システムです。カードレスであるため、番号管理の手間が不要です。30 以上の航空会社が共同運営する精算ネットワーク会社、ユニバーサル・エア・トラベルプラン(UATP)の仕組みを活用しています。UATP には 270 社以上の航空会社が加盟しており、PassAge は、そのすべての加盟航空会社との精算に利用できます。航空券精算の分野における正確性、安全性は世界的にも高く評価されています。
- (*3) 出展: The Nilson Report 2015 年
- (*4) 企業の精算データとサプライヤーからのエンハンスドデータをマッチングし、すべての法人セグメントへ還元できるソリューションです。Concur、Oracle、SAP など広く企業に採用されている会計システムや Mastercard が開発した会計アプリケーション Gen2 へのデータ連携が可能です。
- (*5) Mastercard が開発したオンライン会計アプリケーションです。アカウント管理、レポートと分析、経費精算レポートなど充実した機能を備えています。

(参考)

MUFG カード コーポレート PassAge Mastercard

三菱 UFJ ニコスが発行する PassAge 導入企業専用のコーポレートカードです。Mastercard ブランドを利用し、業界最大 4,330 万の加盟店での利用が可能です。

国内主要空港やホノルル空港の空港ラウンジサービスが無料にご利用いただけるほか、Mastercard が提供する世界 750 カ所以上のラウンジや手荷物宅配優待サービス、空港クローク優待サービスなどの付帯特典をご利用いただけます。



CPS = JAL PassAge コーポレートプラン × MUFG CARD



JAL PassAgeとMUFGカード コーポレートの経費利用データを統合して、貴社の会計システムに送信



JAL PassAge
の利用データ



MUFGカード コーポレート
の利用データ

メリット
1

タイムリーな経費の支出状況や利用傾向の把握・分析が可能になり、戦略的な予算管理や財務計画の立案が実現します。また、申請者本人や経理セクションの経費精算処理の効率を改善。入力ミスや改ざんも防止し、コンプライアンスを強化します。

メリット
2

国内外でさまざまな経費をカード決済。世界で最も幅広く使えるカードのひとつである、Mastercard®の4,330万の加盟店*でご利用いただけます。

*出典: The Nilsson Report 2015年

メリット
3

経費適正化にとどまらず、全組織に波及的なメリットをもたらします。

- | | |
|--|--|
| <p>経理部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全社的な予算管理強化 ●厳格なコスト最適化 | <p>経理部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経費動向の把握と分析が可能 ●入力のミス防止、業務効率化 |
| <p>コンプライアンス部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●データの透明性向上によるコンプライアンス向上・強化 | <p>経理部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経費管理業務の自動化 ●生産性の向上・創造 |
| <p>海外拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●シナジー効果の最大化 | <p>経理部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経費データに基づくサプライヤー交渉とコスト最適化 |

メリット
4

経費使用動向を分析。支出レポートをサプライヤー交渉の材料とすることで、コスト最適化を実現します。



メリット
5

付帯保険がダブルで適用されます。<JAL PassAge>で購入した国際線航空券で、ご出発・ご搭乗される方に最高6,000万円補償*の航空旅行保険が自動付帯。これに合わせて、<MUFGカード>の最高5,000万円補償*の海外旅行傷害保険もダブルで適用されます。



*乗客による死亡・後遺障害の補償



貴社の
会計システム

多くの企業で導入されている一般的な会計システムとの連携が可能です。また、自社で構築された会計システムをご利用の場合でも、システム構築が不要でWeb環境さえあれば極めて簡単に導入できるアプリケーション Mastercard スマート・データ Gen2 がご利用いただけます。

*JAL PassAgeでご購入の国際線航空券については、(株)JALマイレージバンクへのお支払いとなります。